最田工料高等学校 令和7年度
 教科工業(建築)
 科目 課題研究

 数 科: 工業 健築)
 科目: 課題研究
 単位数: 3 単位

 対象学年組:第 3 学年 5 紀~
 組

教科担当者: 使用教科書: (自校作成資料

使用取料者: (目校作成資料 教科 工業 (建築) の目標: 【知 譲 及 び 技 能 】 基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれたありかたを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 建築に関する諸問題の適切な解決を目指し、広い視野からみずから考える能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 建築に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組む姿勢を構築する。 科目 課題研究 の目標:

17 1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	の結果を的確に表現する能力を身につける。	社会の発展をはかる創造的、実践的な態度を身に 着けるとともに、あきらめない忍耐力を習得させ る。

### 1		単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	評価規準	知	思	態	配当
### 1	H				ZII	ASS	201	
				東京の他門に寄する知識や概要および延載的な加工技術に関心を称り、6かづくりに 意味的に取り組み、安全で合理的な製作を工大する実践的な態度を会につけている。	0	0	0	45
### 100 100		・ ②記録をお加工 ・ 「日本版を付款」、 なったたも様と環境において、合理的なお報 ・ 日本版を対して、合理的なお報信 ・ 日本版を表現して、日本版を表現して、日本版を表現して、日本版を表現して、日本版を表現して、大学の工作を表現して、日本版を表現を表現して、日本版を表現して、日本版を表現して、日本版を表現して、日本版を表現して、日本版を表現して、日本版を表現るまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	②木杉の手加工 木工手選具による仕口	「動物の企業を受け、ことでは、またができない。」は第一般では他 の間には他、高度を発表しています。 を対しています。 をはなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	0	0	0	
### 1	1	定期考査(なし)						
	字期	TARABAN TARABANAN (* 1870) TARABANAN (* 1870) TARABANAN (* 1870) TARABANAN (* 1870) TARABANAN (* 1870) TARABANAN (* 1870)	您設計機技能加	「無数の対象」 「無数の対象」 「無数の対象」 「無数の対象」 「無数の対象」 「一般を行った。 「無数の対象」 「一般を行った。 「無数の対象」 「一般を行った。 「一般を行った。 「一般を行った。」 「一般を行った。 「一般を行った。」 「一般を行った。」 「一般を行った。 「一般を行った。」 「一般を	0	0	0	
1985年 19		特殊別。6世的作・61.7、神経理学や理事的の信息、確定に対する基礎が決策に認ら から、主部外にが苦したりあい。6世間が世報開発を主义する実施的必要を含むいけない。 1. 世界のにが苦したりあい。6世間が世報開発を主义する実施的必要を含むいけない。		「知識などの意味」 「知識などの意味」 「最初に、「など中間に必要した影響を展出するためのチョルを をなった。」の思考的を一体でもく効果をがたっている。 「最初に、「などを関していました。」と、「おきを考える」でする。 「などを見ないました。」で、それでは、「などを関していました。」で、また。「などを見ないました。」で、また。「ないました。」で、また。「ないました。」で、また。「ないました。」で、また。「ないました。」で、また。「ないました。」 「ないました。」 「ないまたまたまた。」 「ないまたまたまたまたまたまたまたまたまたまたま	0	0	0	
### 1997								
 正規等を (なし) 2 を		THE STATE OF THE S	让这些新作 - 本贺定马节小划作	※原称小の解析を送して、加工年期でか会性に起慮し、設計・製作工程を合理的に 計画・実施でも対象を会に置いている。 (18号か、終格が、変あり等) で具限性を送し、木材の性質で与んだりえて、各部材の望ましい加工方法を思考・ 経験性・資本を、加工程を制度工夫し、実現できる。 (1871年) 申43・3 加工程を制度工夫し、実現できる。	0	0	0	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		「重要は存在」 の機能なで用意うなものも前りを確定はなって、合理が立刻を はおは、、影響はである。無限を作り、ありたカーナを相切 に対し、、影響はである。無限を作り、ありたカーナを相切 を表すいます。である。 を表すいます。である。 を表すいます。では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	②木材の手加工 木工手連具による加工技術について	「知識を介容器」 「おける生ません」と、加工を確かを会ける意思、 原外・関か工能を の物に上海・関連するが他を応じましている。 の物に上海・関連するが他を応じましている。 は同かる生まだけったものです。 は同かる生まだけったものです。 は同かる生まだけったものです。 は同かる生まだけったもので、の様に対して、同様はできる。 は可かる生まであります。 の様に対して、の様に対して、は、他のは、対して、の様になるが、 のだった。 は、のたった。 は、のた。 は、のた	0	0	0	
### 2		定期考査(なし)						
正開子査(なし)	2 学期	THE SECOND STATE OF THE SE	③調友研究 被条物の調査	物能ない内容 電影の指導を表して、安全や確認に起業した変更を発送されたのを能を申 なり、異常が記述する情報を含むつけている。 可能が必要を表して、安全や確認に起ました変更を発送されたのを発をす 可能がの表現を表して、安全や確認に起ました変更を発送されたのを発をす でいた。それたので表現であることなどを表現されるためである。 【WOLDON JA. ARMSTIL 2007年のようか、ARMSTIL 2007年のようか、ARMSTIL 2007年のようか、ARMSTIL 2007年のようか、ARMSTIL 2007年のようか、ARMSTIL 2007年のようか、ARMSTIL 2007年のようか、ARMSTIL 2007年のようか、ARMSTIL 2007年のようか、ARMSTIL 2007年のようか、ARMSTIL 2007年のようか、ARMSTIL 2007年のようか。A	0	0	0	42
************************************		TANKA TA TANKA	○味素製図・模型 模型製作のための製図	「加高」が自己 は最初が、機関的を含して、安全や個別に発生した関係を探えするためのチョル を表現し、大型を表現しません。 はある。 は関係しては、大型を機関にある。 は最初が、自然である。 は最初が、自然である。 は最初が、自然である。 はまれる。 はな				
### 18		定期考査(なし)						
### 1		・	正式共称作・水製品制作・水製品制作 ・水製品制作 フェビンテーション	「国際の対象」 「国際の	0	0	0	18
学		□ 2017年前上 「日本人が日本」人人による中と情報とおいて、中等のを対象 「日本人が日本人が大きない。」をよった。 日本人が日本人が大きない。 日本のない。 日本のないない、 日本のないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	木工手道具による加工技術について	【知識及び推動】水人のたち参介と感覚において、合理的の計算と手向し、実際直接 の部の上間間を行い、市られたサードを間にも関し、その成を行っては下すた故 にあり、一部の、表面の上のいて、高部の上の、一部の上の上の一部の上の 機能がは、はてる場合のでは、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ において、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、 において、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、 このか、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、一つ、	0	0	0	
### 1	3	定期考査(なし)						
に近ら時か、京都が中間に近り組み、合者から最後報告と大する東純的を載す を用こっている。 定期考査(なし)	学期	DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF	○調査研究 確案物の調査及びプレゼンテーション	「一般などから」して、からや様似に起きした思うが残らからからからから を知って、自然をは、これでもで様似に起きした思うが残らならからが起きま してけ、最もないになった。 をはないないません。これでは、これでは、これでは、これではないないとない。 をはないないません。 をはないないないない。 をはないないないないないないない。 をはないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	0	0	0	
合計		TARREST OF THE PROPERTY OF THE	企連系製図・模型 プレゼンテーション	【思考力、判断力、表現力等】 実施製度、模型製作を送して、安全や環境に配慮した空間を実現させるための手法を 身につけ、完成予起図を仲成することによって、それぞれの語条件に適応した空間を 判断し、生活しやすい環境を実現さる。				
		定期考査(なし)						
105								合計
							_	105